



# 5月のあいさつ

新緑の季節です。若葉が萌えるこの時期は、私たちまでもが心伸びやかになりますね。まだまだコロナ禍で色んな制約や制限がありますが、それぞれのご家庭でお子様との楽しい時間を作れると良いな、と思っています。楽しいエピソードが聞けることを楽しみにしています。

これからだんだん暑くなってきます。水分補給をしっかりと摂って、戸外遊びでたくさん自然と触れ合い、発見し、お友達と共有し子どもたちの世界がどんどん広がっていくことを期待しています。

4月から保育園の新しい環境に少し慣れてきて、リズムができていますが、反面、今までの緊張や疲れが出てくる時でもあります。ご家庭と保育園で密に連絡を取り合いながら、子どもたちがより良い形で園生活が送れるようにサポートしていく所存です。

保護者の皆様には、ご迷惑をおかけする事があるかと思いますが、ご理解・ご協力を  
お願い致します。園長

## 今月のわらい

ひよこ組	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境や生活に慣れ、清潔で安全な環境の元、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・保育士と一緒に好きな玩具で遊び、外気や自然にふれ、のびのびとからだを動かすようにする。</li> </ul>
ぺんぎん組	教育	
あひる組		
ひばり組	養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの思いや欲求を受けとめ、保育士との信頼関係を築きながら、安心して園生活に取り組めるようにする。</li> <li>・身近な自然にかかわりながら、春から初夏への自然の移り変わりを感じ、虫や草花に触れてあそぶ。</li> </ul>
つばめ組	教育	
はと組		

## お知らせとおねがい

※令和4年度・新入園・継続入園確認事項及び同意書を配布させていただきます。

●当園入園の際、配布しています【入園のご案内及び重要事項説明書】冊子の内容をまとめ保護者の皆様に確認と同意を書面にてお願いし、毎年度当初に署名捺印をしていただく文書です。4月に配布し、確認・同意をいただく文書でしたが、内容の見直し等で、5月になりました事をお詫び申し上げ、ご理解・ご協力をお願い致します。

☆つばめ組・防災センター(福岡市百道)の体験に行きます☆

※ 日 時～5月17日(火)8時45分出發

※ 服装～制服・制帽・水筒・ハンカチ

◎当日は弁当の日です。(ひばり・つばめ・はと組)



☆尿検診があります☆

※ 日 時～5月24日（火）回収日

※ 全園児対象

\*容器は5月23日（月）に配布いたします。



令和4年5月行事予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日	6	7
8	9 未満児 身体測定	10 英語教室 音楽教室	11	12 体操教室	13	14
15	16 以上児 身体測定	17 弁当の日 つばめ組 防災センター	18	19	20 誕生会	21
22	23	24 英語教室 音楽教室	25	26 体操教室	27	28
29	30 避難訓練	31 英語教室				

●6月1日（水）～衣替えです。夏服の準備をお願い致します。ひばり組のお子様で準備していないご家庭は、5月中に注文をお願い致します。

5月より、毎月各課内教室（英語・音楽・体操）の見学会を致します。参加は自由です。  
 「コロナ禍」で密を避ける為、「保育参観」等の行事をすることが出来ない今、少しでも子どもたちの保育の様子を見ていただきたいと思ひます。  
 5月の各課内教室予定は上記のとおりです。時間等は掲示板に張り出します。  
 出欠は取りません。

※今後の予定

\*6月4日（土）～ひよこ・ぺんぎん組の保育見学を9時30分より致します。

毎日、園でしています保育を見学して頂きます。

ひよこ・ぺんぎん組は課内教室がないため、保育の見学会と致します。

● コロナ禍の為、各家庭1名での参加をお願い致します。

\*6月には、歯科検診がございます。（全園児対象ですので、当日は欠席のないようにお願い致します）

日時はまだ決まっていません

## 【杉本哲也先生のコラム】

杉本哲也氏は職員研修として、3か月ごとに園に来ていただき、子どもたちの園での活動、職員の子ども達へのかかわり方等の研修および相談・指導をして頂いています。



### 「母の日は母の苦勞をねぎらい感謝を表す日」



どのように労ってもらえばよいのか。その一例を『クリームパンの天使』という子育ては正解のない中に答えを出しながら歩いていくので、気苦勞も多く大変です。「母の日」は元々アメリカで発祥したのですが、日頃の母の子育ての苦勞をねぎらい母への感謝を表す日として制定されたものです。

#### ※エピソードをご紹介します。



あるパン屋さんの話です。毎週土曜日の夕方になると、200円を持って「クリームパン」を買いに来る幼稚園年長の男の子がいました。年少の妹といつも手をつないで一緒に来ます。土曜日は母親の帰りが遅くなるので、「クリームパン」で空腹をしのいでいるようです。

お金は母親からもらっているようでした。「ここのクリームパンはすごく美味しいから」といつも言ってくれます。

4月頭の土曜日の夕方、店先で兄妹が棒立ちになっていました。

兄がポケットに何度も手を突っ込んで、そして悔しそうに帰っていきました。

電話中だったパン屋の奥さんは”お金を忘れたので、取りに帰ったのだろう”と思って、見ていました。

ところが二人はなかなか戻ってきません。心配になっていつもより30分も長く店を開けていたのですが、現れませんでした。奥さんは悔やみました。

「あのとき電話を中断して表に出て“お金はいいから”ってクリームパンをあげればよかった。いまごろお腹をすかせているだろうに…」パン屋のご主人は「タダで渡すと、逆に子どもにみじめな思いをさせるかもしれない。子どもだって我慢しなければならないときがあるんだよ」と言いました。

次の土曜日、パン屋の奥さんは手作りのおやつを用意して二人を待ちました。でも姿を見せませんでした。その次の土曜日、またその次の土曜日二人は現れません。「母親が早く帰れるようになったのかな」「引越したのかも」パン屋の夫婦は寂しい気持ちで話をしていました。

それから姿を見せなくなって5回目の土曜日。二人が来ました。はじけるような笑顔です。

「チーズケーキを一つ下さい」大きな声で男の子がご主人に言いました。

「えっ、クリームパンじゃないの?」「明日は母の日だから、お母さんにチーズケーキを買ってあげるの。」

お金はクリームパンをがまんして貯めたんだよ」握りしめた100円玉を10枚見せました。

「それで来られなかったんだ。でも偉いね。」パン屋の夫婦の目に涙が浮かんでいます。

「ところで前に、店先まで来て帰ったことがあったら。あれはどうして?」

「ポケットの破れからお金を落としちゃった。ずっと探したけど見つけれなくて…」

パン屋の奥さんがきれいな箱にチーズケーキを入れ、リボンを結わえて男の子に渡しました。箱には奥さん手作りのおやつも入れてあります。

ぴよこんとお辞儀をし、大事に箱をかかえ、妹と手をつないで店を出る男の子。

パン屋の夫婦は潤んだ目で後姿を見送りました。

子どもが本質的に一番大好きなのは母親です。2歳を過ぎて我が出てくると、実は子どもの頭の中は母親を喜ばせようという思いでいっぱいです。この『クリームパンの天使』のように、日頃の子育ての苦勞が吹き飛ぶような労いを受ける母の日が迎えられるよう、心より祈念しております。

杉本 哲也